

令和8年2月26日

生徒のみなさん  
保護者のみなさま

大阪府立山田高等学校  
校長 前田 貴司

## 令和7年度学校教育自己診断の結果と分析（令和7年11月実施）

「令和7年度学校教育自己診断アンケート」に回答いただいた生徒の皆さん、保護者の皆様にお礼申し上げます。アンケート集計結果の概要、結果にもとづく分析と今後への課題等を下記のとおり報告いたします。質問項目ごとの集計結果を、生徒用・保護者用・教職員用とあわせて本校学校ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。（メニュー「情報公開」→「学校教育自己診断」と進んでください。）

今後とも、みなさまからの貴重なご意見を本校の教育活動に活かしてまいりますので、来年度もアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

### 【全体概況】

#### 1 生徒アンケートの結果と分析

授業や学習指導に関する項目では、すべての項目で肯定的な回答が75%を超えており、本校の授業や学習指導は、生徒から一定の評価を得ていると考えられる。また、進路指導に関する項目では、すべての項目において90%以上が肯定的な回答となっており、生徒の進路指導に対する満足度は非常に高い。この結果から、本校の進路指導体制や情報提供、個別対応は、生徒のニーズに適切に応えられていると評価できる。

#### 2 保護者アンケートの結果と分析

授業や学習指導に関しては、ICTの活用や評価の公平性について、75%以上が肯定的な回答を示しており、授業運営や成績評価の透明性については、一定の理解と評価が得られていると考えられる。しかしながら、授業の「わかりやすさ」や「楽しさ」、および自宅学習に関する項目では、否定的な回答がそれぞれ36.0%、48.4%と高い割合を占めており、保護者の満足度は必ずしも十分とは言えない。この背景として、生徒が家庭において学校での学習内容や学習状況を十分に共有できていないことや、自宅学習の取組が可視化されにくいことが影響していると考えられる。また、授業中の学びの工夫や生徒の主体的な活動が、家庭に十分伝わっていない可能性も示唆される。

#### 3 教職員アンケートの結果と分析

肯定的回答が75%を超える項目が昨年度より5項目減っている。学校運営、組織力の分野の肯定的回答が低いことは真摯に受け止め、教職員の意見を吸い上げるしくみを工夫していきたい。「14 この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる」の肯定的回答率の低下は、昨今のSNS等にめぐる問題が原因かと考えられるので、ICTを活用した教育活動の先進校にふさわしい情報リテラシーと情報モラルの教育を充実させたい。

#### 4 改善に向けた今後の取組の方向性

これらの結果を踏まえ、今後は以下の点を重点的な改善課題として取り組む必要がある。

- ① 授業における学習目標や活動内容を明確にし、「わかりやすさ」や「学びの実感」を高める工夫を行う。
  - ② 自宅学習の質・量の両面を見直し、生徒が計画的に学習に取り組める指導体制を構築する。
  - ③ 家庭と学校の連携を強化し、②のような自宅学習の取組が保護者にも伝わる仕組みを整える。
- これらの改善を通して、生徒・保護者双方の満足度向上を図り、本校の教育活動のさらなる充実につなげていく必要がある。

その他担当部署ごとにも分析と総括を行った。

##### 【教務部】

- ・保護者アンケートの質問7「7 子どもは、授業に関して、必要に応じて予習・復習を行っているようだ。」も肯定的回答が5割ほどであるが、予習・復習ともに適量の課題をあたえており、生徒が学習に取り組んでいる様子を保護者が見る機会が少ないのではないかと推測できる。予習・復習の実態は、スタディサポートの学習状況の調査も参考にしたい。
- ・教職員アンケートの「5 この学校では、思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」の否定的回答が3割弱あるが、観点別評価を行うために、思考・判断力・表現力を身に着ける指導は全ての教科で行っているため、否定的な回答をした理由を聞きたい。
- ・教職員アンケートの「7 この学校では、評価の在り方について話し合う機会がある」については、今後評価の在り方について、年1回は教員研修として議論する場を設けたいと考えている。
- ・今年度の分析から、教務部としては。「評価の在り方 主体性の評価の実践例」、「プロジェクト、アプリを活用した授業実践：」をテーマとして教員研修を行うことを提案したい。

##### 【生徒指導部】

- ・生徒アンケートの「18 私は服装、頭髪など学校規律についての指導を守っている」の肯定的回答が90%を越えているが、服装の基準を理解していない生徒がいるのではないかと感じる。「17 学校生活についての先生の指導は納得できる」の「よくあてはまる」が昨年度より低下している。服装の乱れについては、丁寧に話して、納得させる指導を心がけたい。

##### 【生徒会部】

- ・「生徒会活動は活発である」（生徒）の項目の肯定的回答率が減少している。生徒会活動の定義があいまいで体育祭や文化祭における生徒執行部の活動が周知できていないかもしれない。「学校行事等の生徒が自主的に行う生徒会活動」という文言に変更した方がよい。
- ・生徒アンケートの「11 体育祭や文化祭は楽しく行えるよう工夫されている」の「よくあてはまる」が年々低下している。生徒が行事に積極的に参加する意欲を喚起できていないのではと考え、生徒の意見を取り入れて行事に反映していく仕組みづくりに取り組みたい。

##### 【進路指導部】

- ・進路関係の行事は生徒・保護者・教職員からも高い評価を得ているので、現在実施している企画

や行事のさらなる充実を検討する。

- ・キャリア教育については、教育活動全般で行うべきものであるので、他分掌や学年と連携を深めていきたい。

#### 【保健部】

- ・教職員アンケートの「29 この学校では生徒の生活の場として施設・設備が居心地のよい環境として整備されている」の否定的回答が上昇したことは、校内の清掃が行き届いていないという指摘もあるので、教室清掃のマニュアル作成や、月1回の大清掃などを次年度に向けて検討したい。

#### 【学年】

- ・生徒アンケートの「18 私は服装、頭髪など学校規律についての指導を守っている」の肯定的回答率が高いが、指導を守っている分、納得がいかない生徒も多いかもしれない。守らせるだけでなく、なぜ守らなければならないかの意味を伝えていきたい。
- ・生徒アンケートの「3 山田高校に入学してよかったと思う」「21 先生は、いじめなどについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」の肯定的回答が非常に高いので、生徒は安心して学校生活をおくることができていると考えている。
- ・「31 教室・特別教室・運動場・体育館などは、授業や生活がしやすいように整備されている」（生徒）と「29 学校の施設・設備は学習環境面で満足できる」（保護者）を比較すると、保護者の方が生徒より学校に対するハード面での要求レベルが高くなっていると感じる。